

調剤くん.com運用イメージ

調剤くん.comは薬局の運用形態に合わせて端末ごとに業務を割り当てることができます。1台で運用される薬局様も複数台で運用される薬局様も薬局にあった最良の業務フローを構築することができます。

運用サンプル

LAN 3台構成

受付・投薬カウンター

- 患者情報入力
- 処方入力

投薬カウンター

- 電子薬歴支援システム「薬歴くん」
- 状況確認
- 会計

調剤室

- 処方監査
- 電子薬歴支援システム「薬歴くん」

LAN 2台構成

受付・投薬カウンター

- 患者情報入力
- 処方入力
- 電子薬歴支援システム「薬歴くん」
- 会計

調剤室

- 処方監査
- 電子薬歴支援システム「薬歴くん」

この他にもさまざまなスタイルでご導入いただけます。

業務設計

調剤くん.comでは主業務⇔副業務⇔修正業務⇔状況と4つのシーンでそれぞれ独立したメニューとして操作することができます。端末毎の役割に応じた業務メニューを事前に登録し必要なシーンで必要な画面だけを表示、操作することにより最も効率的な運用設計が可能です。



- 患者登録から処方入力画面
処方入力
- 調剤室では必要のない画面を排除し、処方監査のみに特化した画面
監査
- 処方監査や服薬支援を行う電子薬歴支援システム「薬歴くん」に移行※「薬歴くん」未導入の場合は簡単な記録等、投薬時の補助画面となります。
服薬支援
- 会計、入金確認、窓口帳票を印刷する画面
会計

※主業務、副業務で設定出来るパターンは15個



画面の例のように、主業務ボタンで操作を「処方入力～会計」に設定しておき、サブ業務用として副業務ボタンに「服薬支援～会計」を設定すれば、端末が空いている時などに効率よく使えるよう設計できます。



詳細な業務設計ができる端末設定画面。